



生成AIとの接し方のコツ

生成AI（ChatGPTやGeminiなど）を活用するときのポイント、プロンプトの作り方、頼み方のパターンをわかりやすく解説します。

使い方のポイント：動詞ベースで考える

🎯 明確な指示が大切

生成AIを使う際は「何をしてほしいのか？」を明確に伝えることが重要です。

👤 動詞を意識する

「要約して」「説明して」「比較して」など、動詞を使って具体的な行動を指示しましょう。

👥 パートナーとして接する

感覚的には、信頼できる部下やパートナーに業務をお願いするイメージで接すると効果的です。



「動詞」から始まる
明確な指示が
AIとの対話を
より効果的に

プロンプトの4要素

①ペルソナ

AIにどのような役割や視点で回答してほしいか、または誰向けの内容にしてほしいかを指定します。

例：「あなたはプロのエンジニアとして...」「中学生にもわかるように説明して」

②やってほしいこと（タスク）

AIに実行してほしい具体的な行動や作業を明確に伝えます。

例：「3つの選択肢を提案して」「Slackに投稿する文章を考えて」

③前提・背景（コンテキスト）

AIが適切な回答をするために必要な状況や背景情報を提供します。

例：「社内プレゼンで使う」「相手は取引先の部長」

④出力形式（フォーマット）

回答をどのような形式で表示してほしいかの指示です。

例：「Markdownで出力して」「表形式でまとめて」



よく使う頼み方のパターン10

1 解説して

「RAGの仕組みを教えて」「ChatGPTの裏側をざっくり解説して」

3 要点をまとめて

「つまりどういう意味？」「3行で要約して」

5 整理して見せて

「箇条書きにして」「フローチャートで流れを図解して」

7 情報を探して

「最新の事例を調べて」「このテーマに関する海外の論文ある？」

9 翻訳・言い換えして

「自然な英語に直して」「この言い方、もっと柔らかくできる？」

2 たとえて説明して

「野球で例えて」「ゲームのステータスっぽく言い換えて」

4 詳しく深掘りして

「これについて、さらに詳しく知りたい」「具体例を挙げて説明して」

6 評価・添削して

「この文章、直すところある？」「他の言い回しの方が良い？」

8 比較して

「AとB、どちらが良さそう？」「違いを簡単に表にして」

10 書いて（またはコードを書いて）

「X（Twitter）向けに短くして」「この処理をPythonで書きたい」

万能アシスタントに何を依頼したいか？という観点で考えると発想が広がります。

まとめ：まず行動し、調整しよう

- ✓ 完璧なプロンプトを最初から作る必要はありません。
- 🔄 AIからの回答を見ながら「もう少し詳しく」「図で説明して」など追加で指示を出すことで、望む結果に近づけます。
- 💡 使い慣れて微調整しながら活用することがポイントです。

生成AIは対話型ツール - 完璧を求めるより、対話を通じて改善していくことが大切です。

